

愛媛県進路指導研究協議会 教育長あいさつ

平成28年7月6日(水)
にぎたつ会館

本日は、愛媛労働局並びに愛媛県進路指導研究会との共催により、愛媛県進路指導研究協議会を開催いたしましたところ、このように多数の方々にお集まりをいただき、誠にありがたく存じます。

また、皆様方には、日頃から、児童生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の充実に取り組んでいただいております。今年3月の県立高等学校卒業生の就職決定率は99.8%と、過去10年間で最高の数字となりました。これもひとえに、皆様方の御指導、御支援の賜物であり、心から感謝申し上げます。

さて、御案内のとおり、新しい時代にふさわしい学習指導要領等の基本的な考え方やアクティブ・ラーニングの在り方が盛り込まれた中教審の答申が、今年度中に出されることになっておりますが、答申に先だって昨年8月にとりまとめられた「論点整理」では、子どもたちに社会や職業で必要となる資質・能力を育むためには、学校と社会との接続を意識した「キャリア教育」の視点が重要であり、学校教育には、変化する社会の動きを取り込み、世の中と結び付いた授業等を通じて子どもたちに主体的な学びを保証することが求められると示されております。

そのような中、県教育委員会では、地域人材を活用した土曜教育の推進など、学校や家庭、地域、企業等が連携・協働して、次代を担う子どもたちの健やかな成長を支援しているところです。また、本年度開設した今治工業高校機械造船科では、国のスーパープロフェッショナルハイスクールの指定も受け、地元で学び地元で就職して地域経済の振興に貢献する、いわゆる「地学地就」のモデルともなる取組として、地元造船業界など地域と一体となって、地域産業を支える人材を育成するとともに、特別支援学校での技能検定においては、受験者の増加とレベルアップを受け、幅広い生徒が受検する地区検定と、より高いレベルに挑戦する県の検定の2段階方式とする見直しを行うほか、情報サービス部門など、企業ニーズを踏まえた新たな種目も導入するなど、愛媛のキャリア教育の一層の充実に努めているところです。

本日は、小学校と中学校、高等学校、特別支援学校等の関係者が一堂に会し、「個性を生かし、たくましく生きる力を育むキャリア教育」を研究主題とした研究発表や研究協議等が行われると伺っております。本会が、小中高、特別支援学校の連携の下、新しい時代に求められる、長期的展望に立った進路指導、キャリア教育を推進するための、相互研修の場となりますようお願い申し上げますとともに、子どもたちに「社会を生き抜く力」を育むための充実した会となりますよう祈念いたしまして、挨拶いたします。